

5月の保育のねらい 讃嘆（たたえます）

- ・仏さまのお部屋を美しくし、進んでお礼をする。
- ・親鸞さまのようなお方になるようにつとめる。
- ・阿弥陀さまのおかげを忘れない。
- ・お互いに尊敬しあう。



ふじ・さくら・たんぽぽ組

- ・身近な動植物に興味関心を持ち、保育士や友達と元気に遊ぶ。

ひまわり・れんげ組

- ・保育士や友達と一緒に自然に触れたり好きな遊びを楽しむ。

<行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7
8 母の日	9	10 身体測定 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	11 絵本デー (たんぽぽ・ひまわり) 身体測定 (れんげ)	12 身体測定 (ひまわり)	13 愛情弁当 布団・ズック 持ち帰り	14
15	16	17 避難訓練	18 親子遠足 愛情弁当	19 降誕会	20 布団・ズック 持ち帰り	21
22 親子行事 (パン作り)	23	24 さつま芋苗 植え(ふじ組) 雨天時25日(水)	25 園児健康診断 (13時から)	26 誕生会	27 集金引き落とし 布団・ズック 持ち帰り	28
29	30	31				



5月の第2日曜日は母の日。ふじ組・さくら組・たんぽぽ組・ひまわり組の子ども達は大好きなお母さんの事を思いながら、『おかあさん、大好きだよ。』『おかあさん、ありがとう。』の気持ちが詰まった、世界でたった一つのプレゼントを考えています。子ども達の『ありがとう』の気持ちがお母さん達に伝わるといいですね。

給食献立表 5月分

2日 (月)	豆腐ナゲット こんにゃく金平 れんこんサラダ
6日 (金)	若竹汁 枝豆シューマイ スパゲティーサラダ
9日 (月)	鶏の唐揚げ ぜんまい炒り煮 春雨の酢の物
10日 (火)	野菜コロッケ 中華もやし炒め ごぼうサラダ
11日 (水)	白身魚の竜田揚げ しらたき炒め カニカマ野菜サラダ
12日 (木)	かき玉汁 一口フランクフルト ブロッコリーサラダ
13日 (金)	愛情弁当  誤嚥事故防止のため、ミニトマトやブドウ等の球状の食品は、柔らかくしたり、切ったりしてお弁当に入れるようお願いします。
16日 (月)	アジフライ マーボーもやし わかめの酢の物
17日 (火)	揚げたこ焼き ひじき煮 マカロニ玉子サラダ
18日 (水)	愛情弁当 (親子遠足)  誤嚥事故防止のため、ミニトマトやブドウ等の球状の食品は、柔らかくしたり、切ったりしてお弁当に入れるようお願いします。
19日 (木)	小豆ご飯 春巻き 金平ごぼう ゆで豚と野菜のサラダ
20日 (金)	カレー汁 福神漬け コロコロサラダ いちご
23日 (月)	えびカツ 五目豆煮 玉葱のマリネ
24日 (火)	さわらの西京焼き インディアンポテト 青豆サラダ
25日 (水)	肉ギョーザ 酢豚風煮 ツナ野菜サラダ
26日 (木)	竹の子ご飯 のっぺ汁 玉子焼き 春雨サラダゼリー
27日 (金)	蓮根の挟み揚げ 肉野菜炒め 中華風酢の物
30日 (月)	ハムステーキ 小松菜煮びたし マロニーサラダ
31日 (火)	チキンカツ 割り干し大根煮 スナップエンドウ玉子サラダ

- * 19日は降誕会です。小豆ご飯を作りますので、主食は要りません。
- * 26日は誕生会です。竹の子ご飯を作りますので、主食は要りません。
- * 行事食の日を含め、お箸とコップは毎日お持ち下さい。
- * 材料納入等、都合により献立を変更することがあります。

保育園の献立は以下の事を心がけて作成し、調理しています。

- ・たんぱく質の食品（肉、魚、卵、豆類）と野菜を組み合わせ、栄養バランスが偏らないように
- ・食事のバランスと、色どりが良くなるように
- ・汁物は具沢山にする等、多くの食品が食べられるように
- ・四季折々の旬（栄養価が高く、美味しい時）の地場の農産物を取り入れるように
- ・行事食や伝承料理を取り入れるように

【お願い】

- ・気温の変化が激しい時期です。暑くなる日もありますので、5月から夏服の制服でも結構です。それから、暑い日は遊び着を脱いで活動しますので、遊び着は園で預かり汚れた時や2、3日使用した時には持ち帰ります。お洗濯をしてまた、お持たせください。また、午睡時にタオルケットと掛け布団の両方お持たせください。
- ・洋服、下着、靴下等、着替えの時に名前の記入がない子が見られます。すべての物に名前を記入してください。

【ふじ・さくら・たんぽぽ組より】

- ・散歩の機会も増えてきますので、水筒にお茶をたくさん入れて持ってきて下さい。（土曜日もお願ひします。）

【ふじ・さくら組より】

- ・毎日の色タオルの他に、汗拭きタオル（名前を書いて）をご用意ください。ループは付けなくて結構です。

【お知らせ】

【半日保育士・個人懇談について】

園生活にも慣れ、お子様達の個性が見え始めました。

例年ですと、一人ひとりの今後の保育について、また、園生活・家庭生活について話し合いの機会として、半日保育士（ふじ組・さくら組・たんぽぽ組）・個人懇談（ひまわり組・れんげ組）を計画していましたが、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の為に半日保育士はふじ・さくら組の希望者のみとさせて頂きたいと思ひます。一人ひとりの今後の保育について、又、園生活・家庭生活についてお話し合いの機会としたいと思ひます。園に来て頂いて、子どもさんの様子を知って頂いたり、保育士と一緒に・読み聞かせ体験・折り紙体験・紙芝居体験・お絵描き体験等をして頂きたいと思ひます。（半日保育士の日程は、朝から食事前までの活動の3時間程度です。）半日保育希望の方は、半日保育士希望申し込み用紙に希望日①②をお書きください。（半日保育士の場合、その日の朝に懇談を行います。）

懇談のみ希望の方は、個人懇談申し込み用紙に懇談可能日をお書きください。

5月20日（金）までに提出してください。

たんぽぽ組は個人懇談のみにさせて頂きます。平日の午後4時30分頃（お迎えの時）からと土曜日にさせて頂きますので、別紙の申し込み用紙にご都合の良い日を記入し、5月12日（木）までに提出してください。れんげ組は、お迎え時や連絡帳にてお知らせしているのて、懇談は行いません。ご希望の方のみさせて頂きます。

【園児健康診断について】

健康診断は午後1時からです。健康診断の日に病気等で欠席されて、受診出来ないお子さんは、後日、お家の方から高野医院さん（河和田町）にて受診されますようお願ひします。

【お礼】・タオル・ティッシュのご協力頂きましてありがとうございました。



お部屋の中では…

ふじ組



年長さんになり、少しずつ生活にも慣れてきた子ども達。4月から年長さんのお仕事として、新入園児へのプレゼント作り、花まつりの白象の飾り付けから始まり仏旗を持って歩く等、年長さんでしか体験出来ない活動が多くみんな張り切って頑張ってくれています。これから主となる事が多くなる中、楽しく取り組みながら、みんなで力を合わせる事への達成感が味わえると良いなと思います。

さくら組



新しいお部屋での生活が始まって1ヶ月が経とうとしています。最初は緊張気味だった子ども達も「新しい玩具!!」「こんな絵本ある〜!」と嬉しそうに遊んでいます。「さくらさんやでなァ」と意欲的に活動しているので、自信につながるような働きかけをしていきたいです。

たんぽぽ組



新しいお友達も笑顔が増えてきました。年少さんの環境に慣れる事は覚える事が多くて在園児のお友達でも大変だったはず。みんな本当によく頑張っているのです、褒めてあげてください。春はとにかく外遊びをおもいきり楽しめるようにしていきたいです。

ひまわり組



ひまわり組になり、初めは緊張した様に部屋に入る姿が見られていましたが、少しずつ新しい生活に慣れてきました。登園すると自分でシール帳にシールを貼り、おしぼり・フォーク・スプーンをかごに入れる、水筒もかごに入れる、保育士が見守る中やろうとする姿が見られています。

新しいお友達も増えて賑やかになり、これからまた色々な事を経験し、みんなで仲良く過ごしていきたいと思います。

れんげ組 (1歳児)



新入園児も加わり環境が変わり、初めての方お友達は泣いている事が多かったですが、徐々に担任や環境にも慣れてきて、落ち着いて過ごす様子が見られます。玩具や新しいお友達にも興味津々で、好きな玩具を見つけると手にしたまま室内やテラスを歩き回ったり、お友達と戦いごっこをしたりする姿も見られますよ。感染症も見られるので子ども達が健康で安心して過ごせるように気を付けていきたいです。

れんげ組 (0歳児)



お家の人から離れての生活が始まりました。不安一杯で大泣きしていましたが、徐々に慣れてくれて今ではにっこり笑顔も見せてくれるようになりました。“え〜”“う〜”と担任を呼ぶ声も聞こえるようになりましたよ。まだまだ不安はあると思うのでスキンシップを充分に取っていききたいと思います。

叱らない子育て？

新年度が始まりあっという間に1か月が経ちました。「おかあさ〜ん」「ママがいい〜」と不安そうにしていた子供たちも、毎日の生活の繰り返しでいろいろな事を感じたり、身に付けたり、楽しい経験をしていく事で心も安定し、保育園に自分の居場所を見つけられるようになってきているなあと嬉しく思っています。

先日『てい先生』の研修を受ける機会がありました。『てい先生』とは関東の保育園に勤める男性保育士。保育士として勤務する傍らその専門性を活かし、子育ての楽しさや子供への向き合い方などメディア等で発信している方です。「今日何をした？」と聞くより、朝「今日は保育園でどんな事をしたい？」夜「朝〇〇したいって言うていたけれどできた？」と聞く方が内容が濃くなり話も広がりやすいとの事です。

鯖江市の民間保育園の先生方が子供たちと向き合う中でどのような対応をしていくと良いのだろうか、悩んでいる質問にテキパキとわかりやすく、しかも子供の気持ちを一番に思いながらお話をしてくださいました。

叱らない子育てというのは間違いで辞書で調べてみるとわかるように、「怒る」は感情が沸き起こる事。「叱る」は良い方向へ指導する事。叱らない子育てではなく、怒らない子育てをしてほしい。でも家庭では怒らない子育ては難しい時もあるので保育園で怒らない子育てを徹底してほしい。とお話しされていました。話を聞いてなるほど、子供はそう思うのか！こんな事で困っているのか！等参考になる事がたくさんありました。

子育てに悩みや迷いはつきものです。一人で思いつめるより言葉に表して近くの人に頼ってみる事、悩みを共有する事も大切なのかもしれません。子供たちの自ら成長していく力を信頼して、その時その時の子供の言葉をしっかり聞いて受け入れ、「いつでも見守っているよ」「力になるよ」という気持ちで接しながら、心の支えになれるようになればいいなあと思います。子供たちにこうなってほしい、こうしてほしいという思いもありますが、まずは心の安定、安心感を持てるように。心が安定すると興味が広がり、意欲も湧いて自然と元気なパワーが出てきます。「保育園で〜したい」という声をたくさん聞きたいです。

主任保育士 渡辺まゆみ

